

地域連携を基盤にした透析予防 から地域への展開へ(4) —愛媛県八幡浜市—

市立八幡浜総合病院内科
酒井武則



八幡浜市の地域連携の歩み

2007年

2012年

2017年

2022年

2013年

2014年

糖尿病病診連携

地域診療所への技術移転:八幡浜糖尿病連携サークル 53回(2021.12)

糖尿病疾病管理事業

疾病管理MAP導入・保健師との連携

サポーター制度(YDS)

地域多職種連携

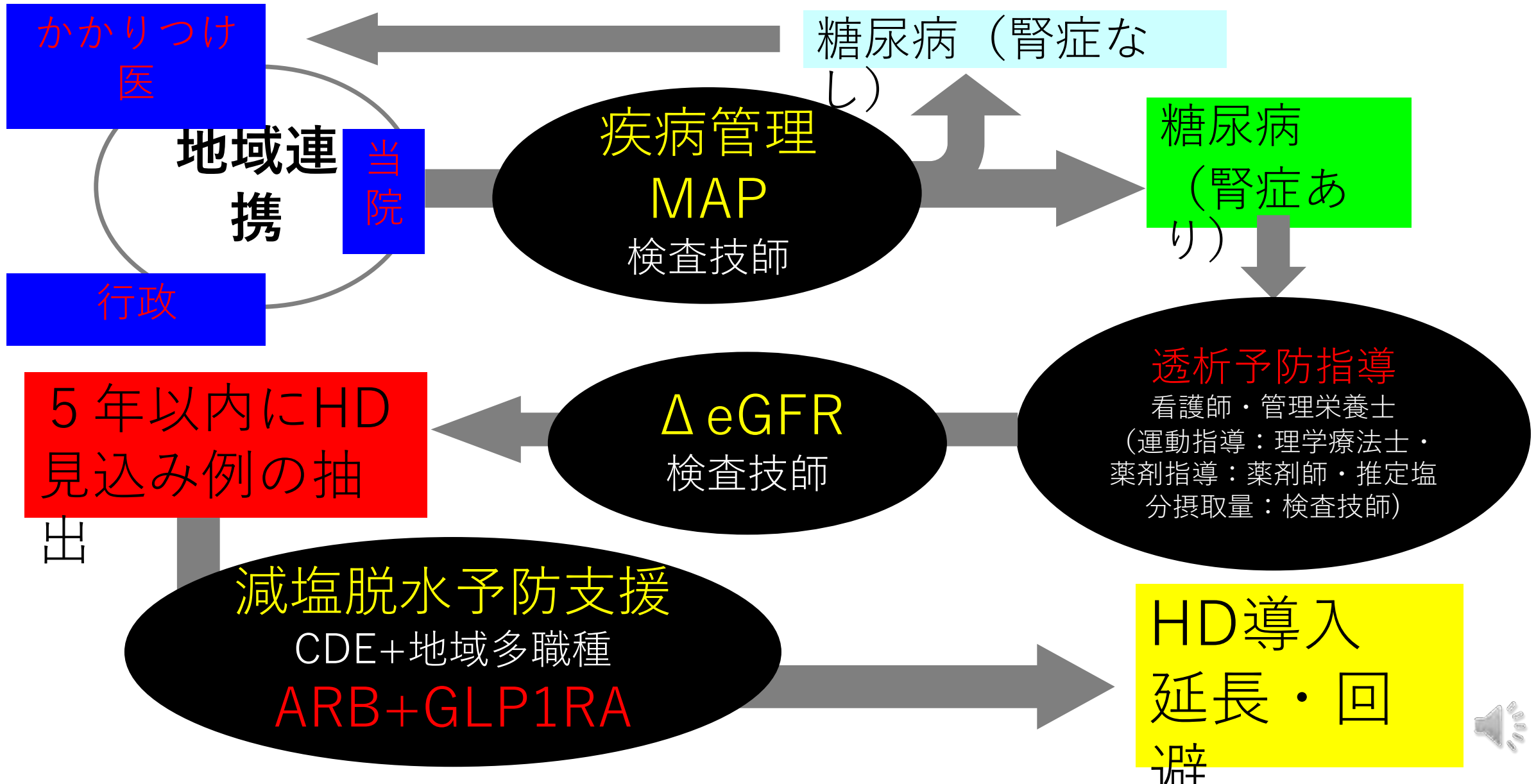
デバイスサポーター制度

注射の見守り・薬局との連携

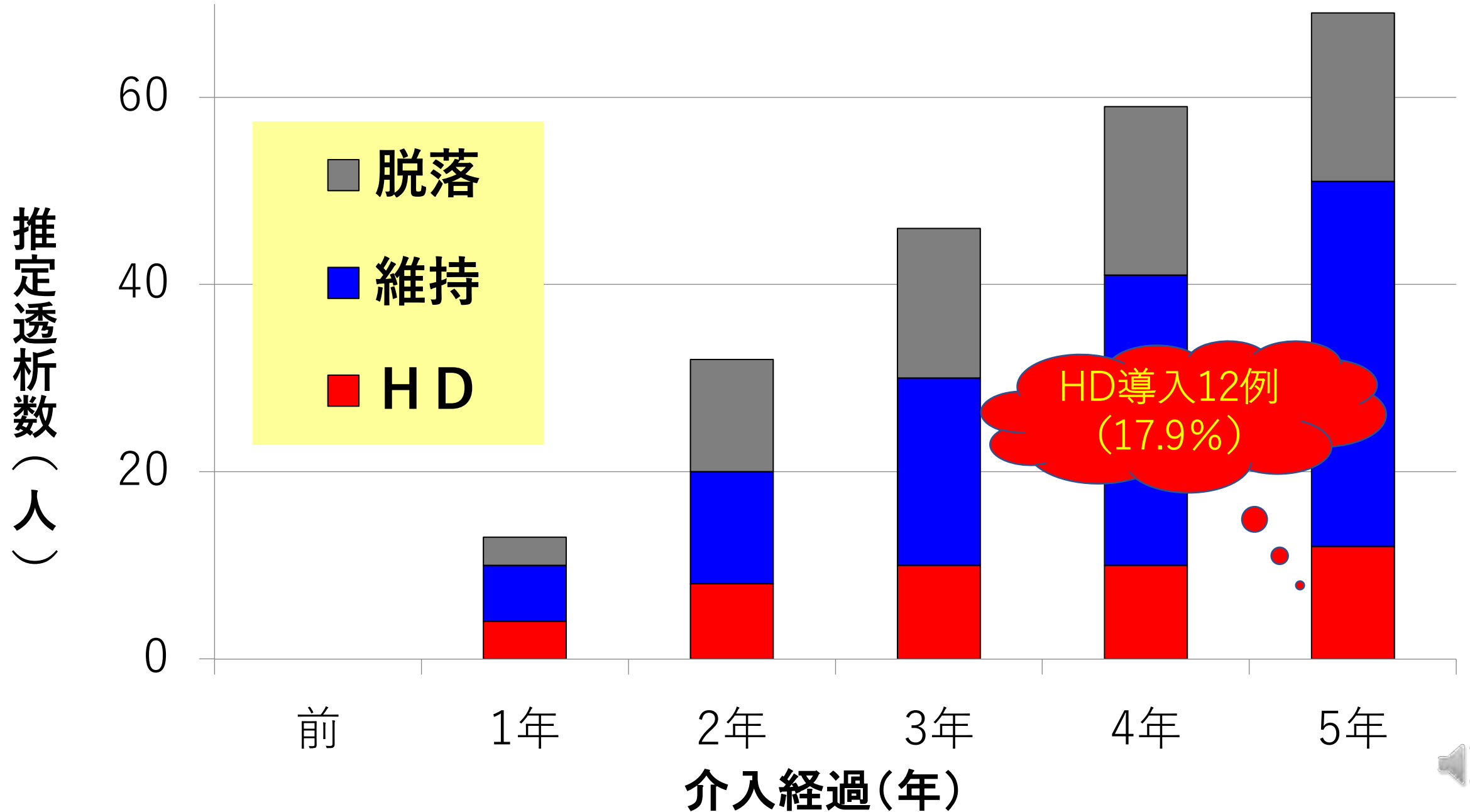
2014年～
「JMAP方式」
による重症化予
防



糖尿病性腎症重症化予防（JMAP方式）



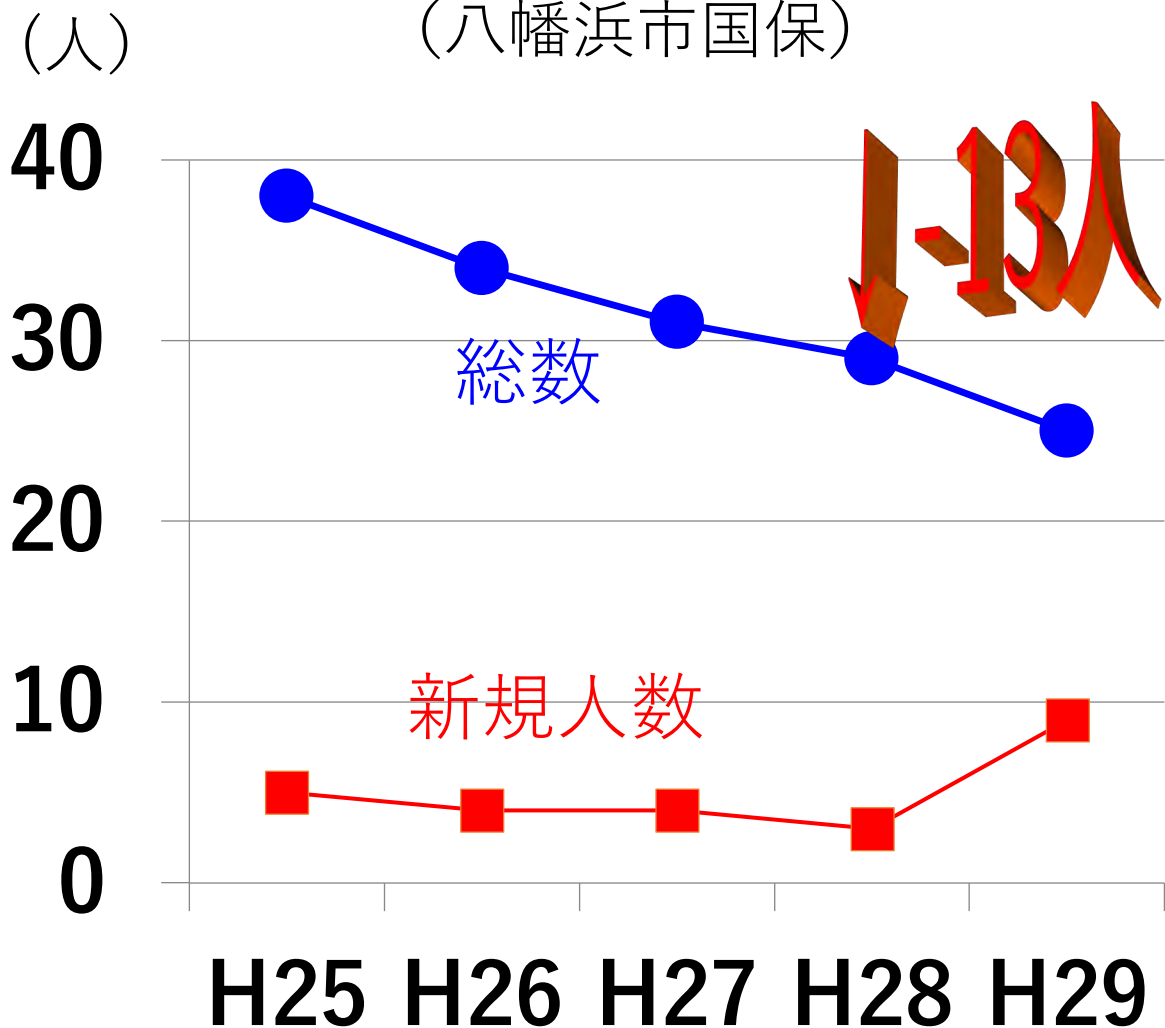
JMAP方式介入例の経過(5年以内透析導入見込み67例)



八幡浜市の重症化予防の成果

人工透析患者数

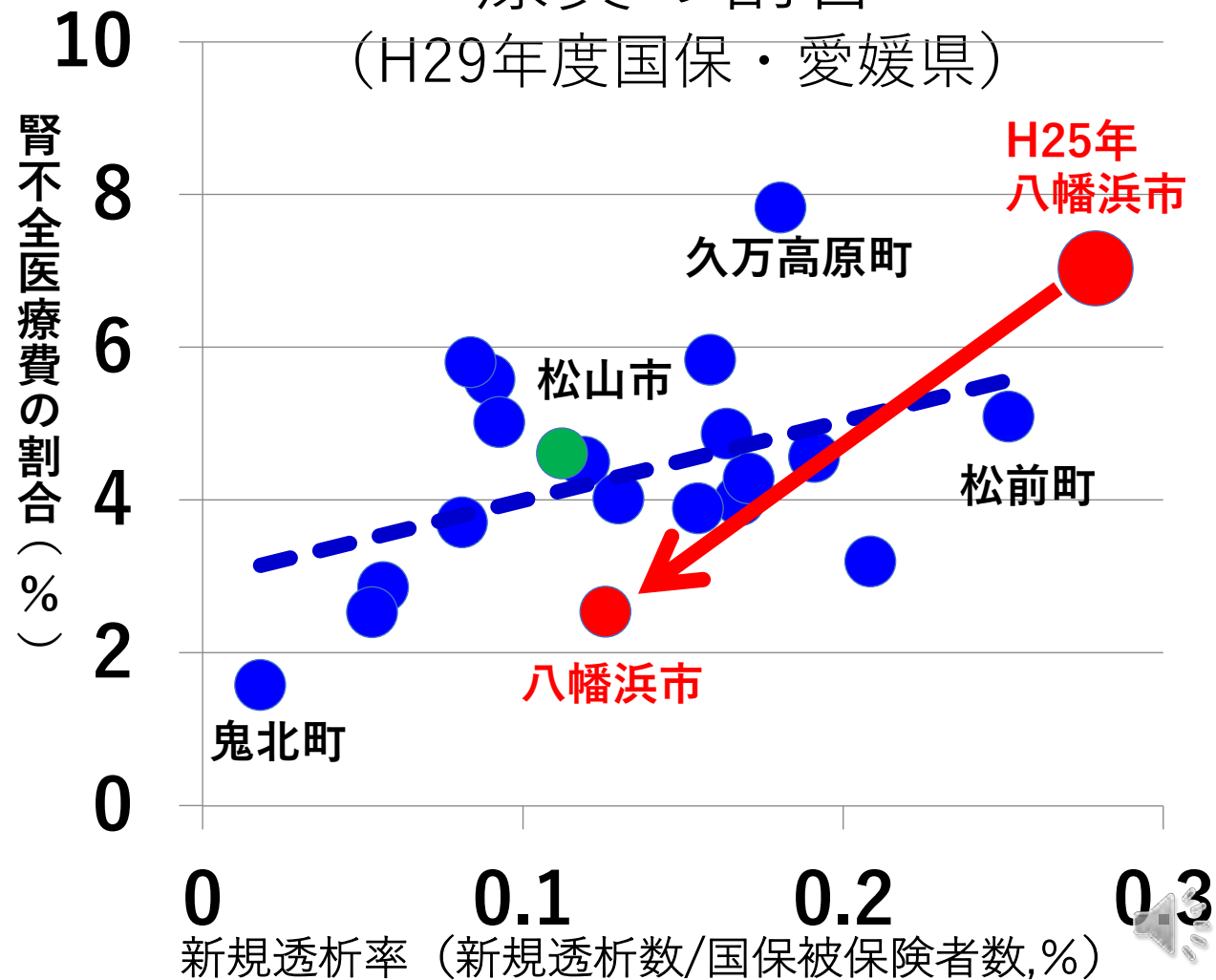
(八幡浜市国保)



(平成30年度特定健診法定報告書より作成)

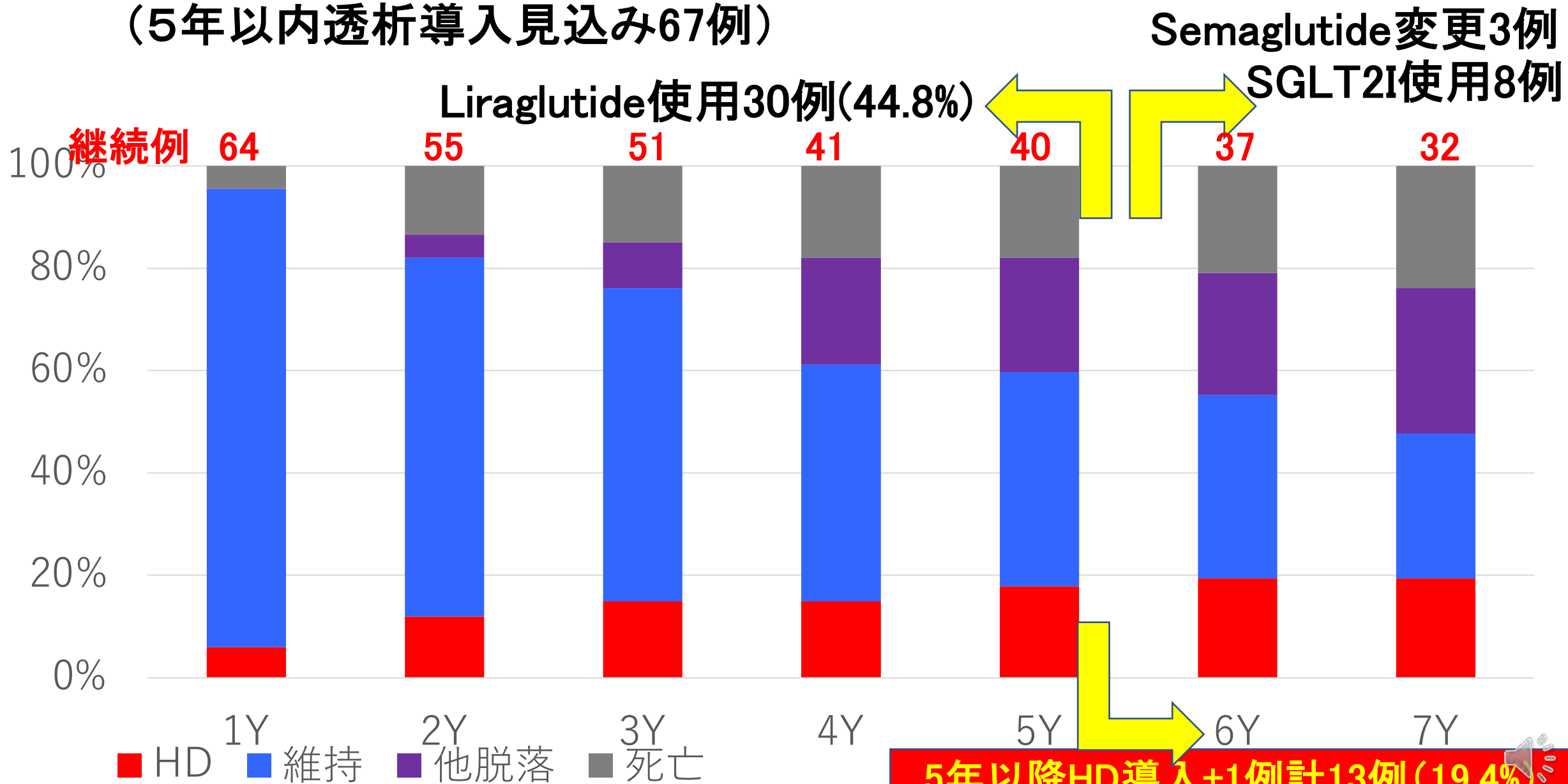
新規透析率と腎不全医療費の割合

(H29年度国保・愛媛県)



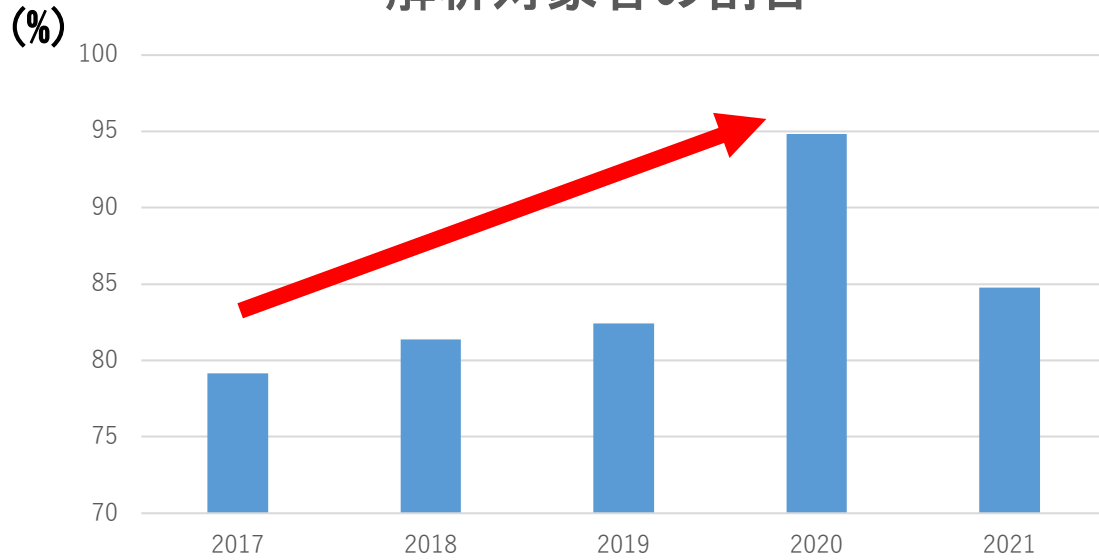
JMAP方式介入例の経過

(5年以内透析導入見込み67例)



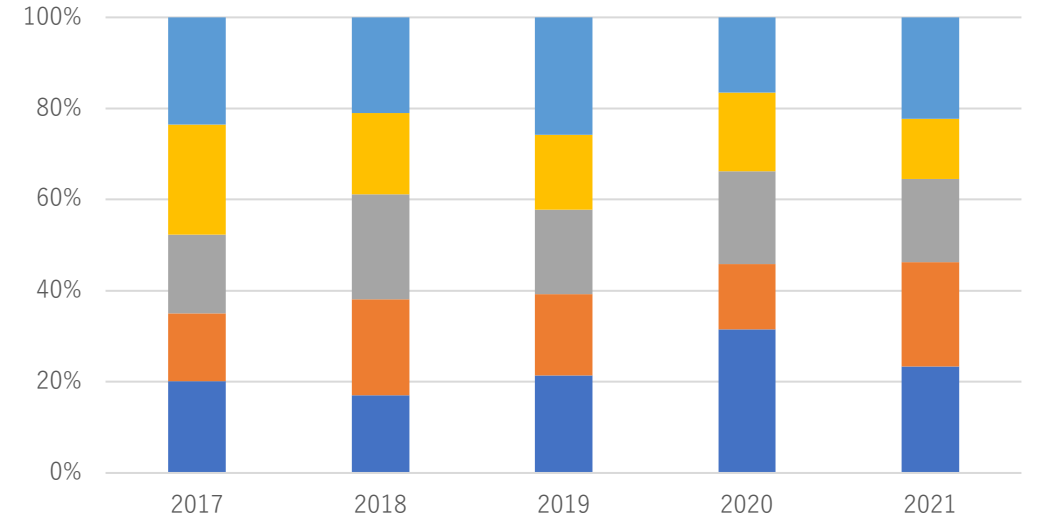
透析導入ハイリスク例の年次推移（八幡浜市）

解析対象者の割合

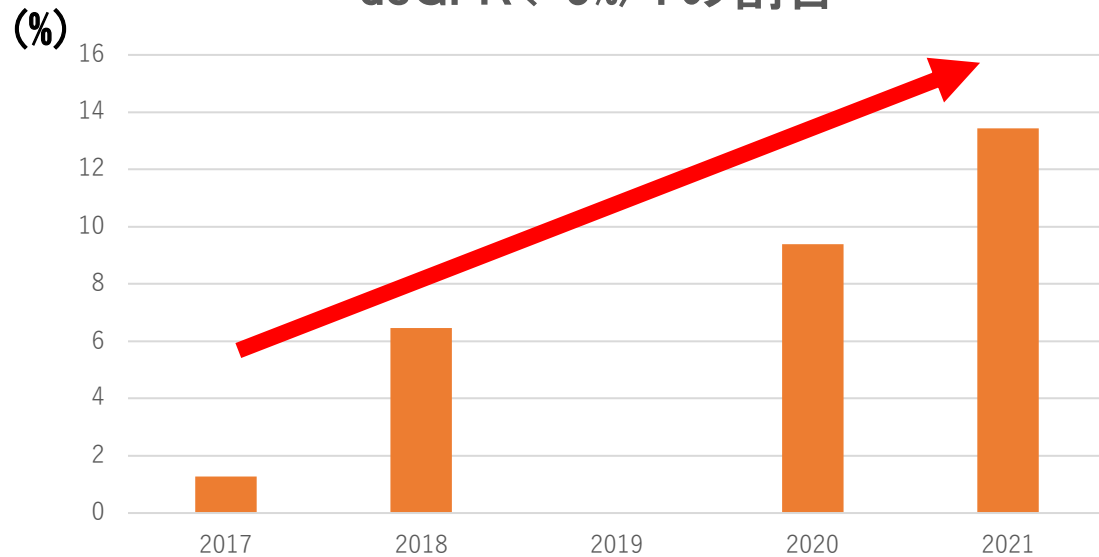


透析導入予測年度

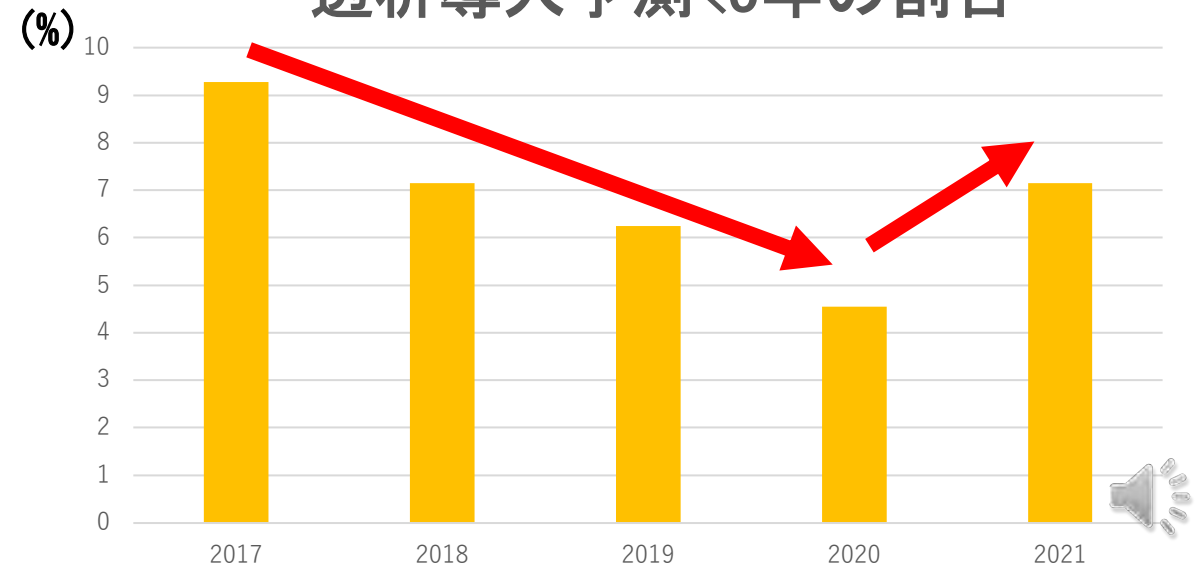
■HD<1 ■HD<2 ■HD<3 ■HD<4 ■HD<5



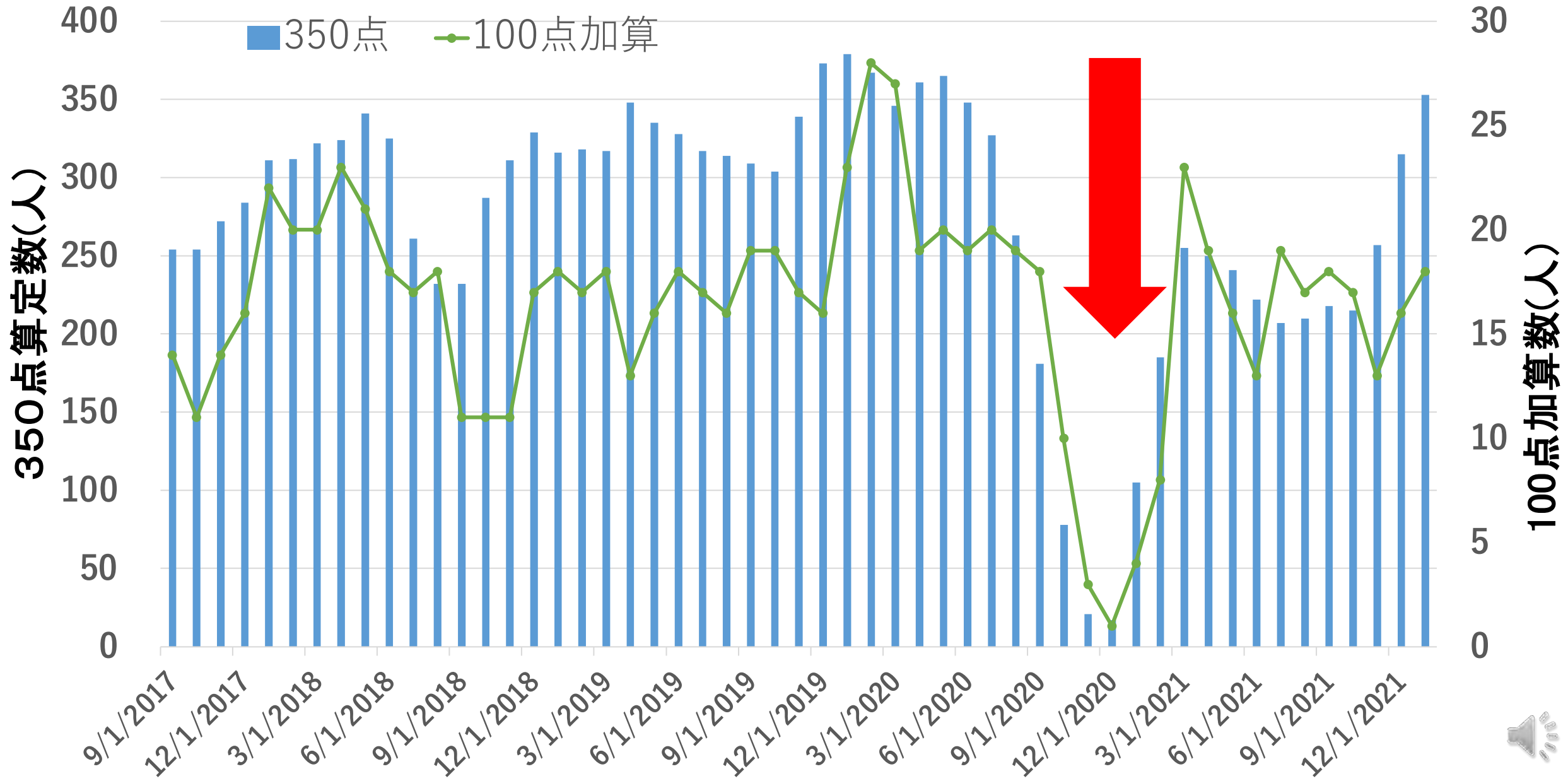
deGFR<-5%/Yの割合



透析導入予測<5年の割合

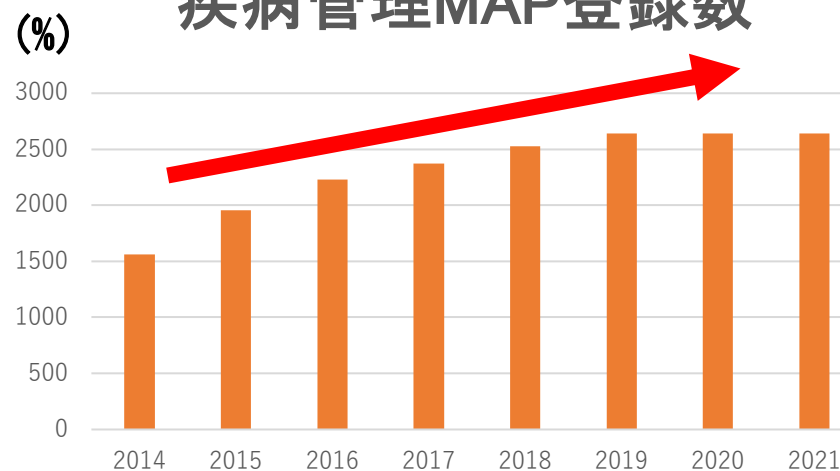


350点算定数 (H24年～) と100点加算数 (H29年～)

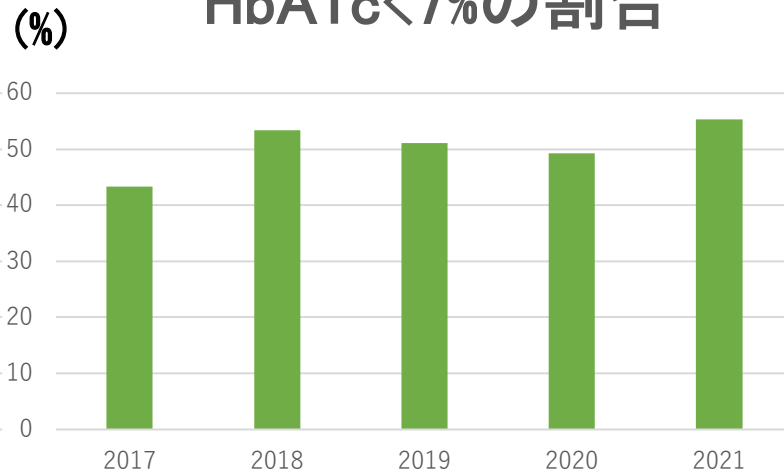


当院疾病管理MAP登録数と完成度UP！

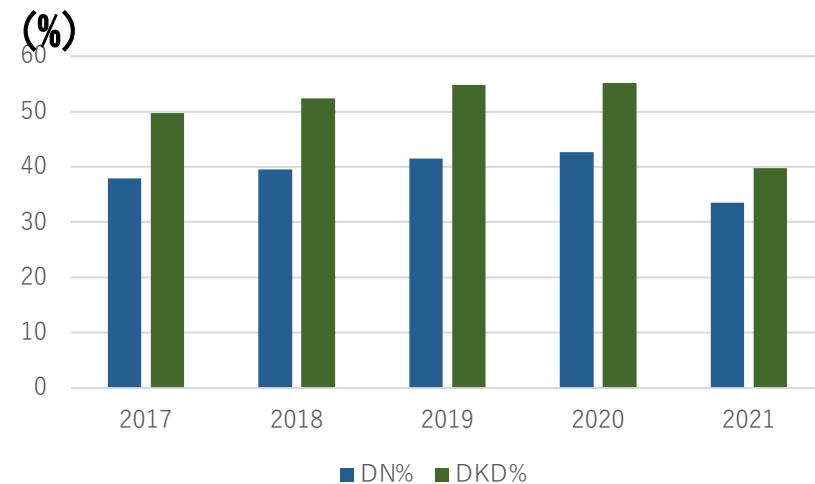
疾病管理MAP登録数



HbA1c<7%の割合



DNとDKDの割合



2012年度
(2012.4~2013.3)

検査実施率(介入前後)

2020年度
(~2021.3)

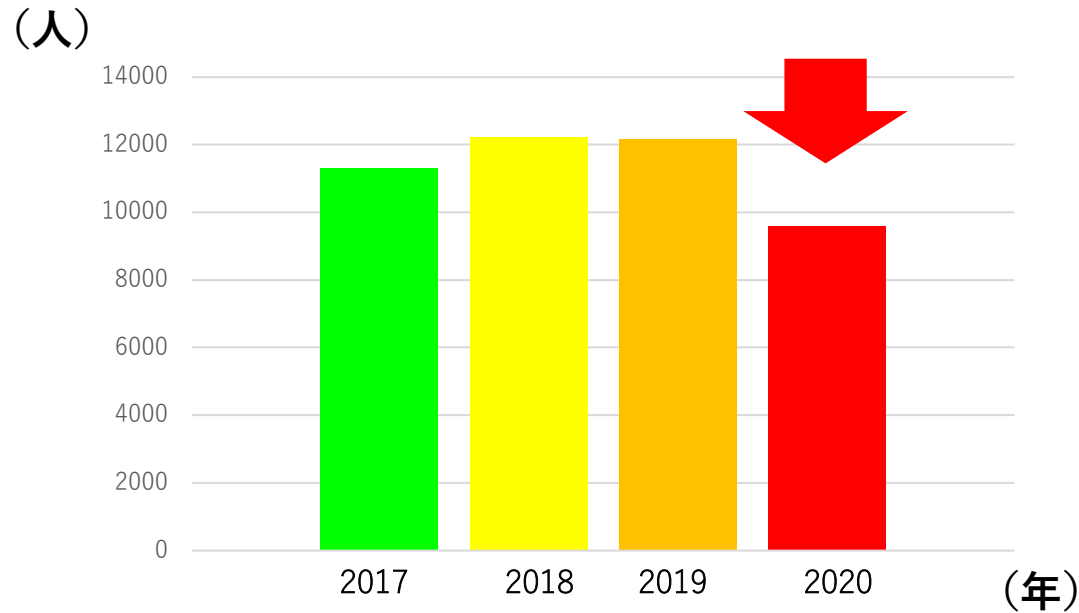
		ACR/PCR		計
		有	無	
eGFR	有	872 (64.4%)	416 (30.7%)	1288 (95.1%)
	無	3 (0.2%)	63 (4.7%)	66 (4.9%)
計		875 (64.6%)	479 (35.4%)	1354



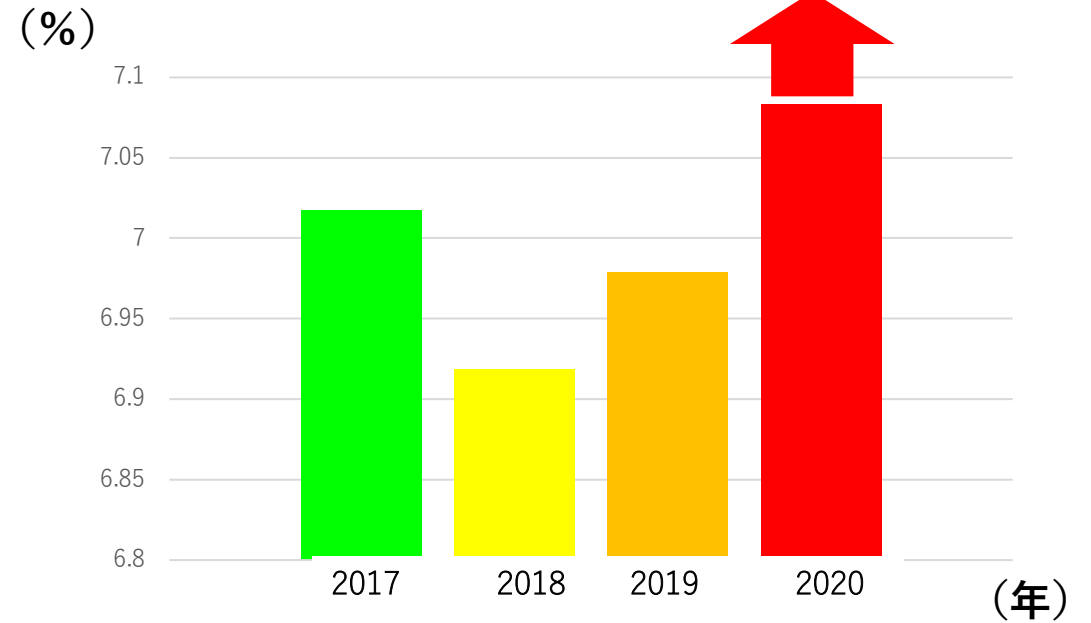
		ACR/PCR		計
		有	無	
eGFR	有	1447 (64.7%)	773 (34.5%)	2220 (99.2%)
	無	3 (0.1%)	16 (0.7%)	19 (0.8%)
計		1450 (64.8%)	789 (35.2%)	2239

COVID-19パンデミック下のDM外来数とHbA1c

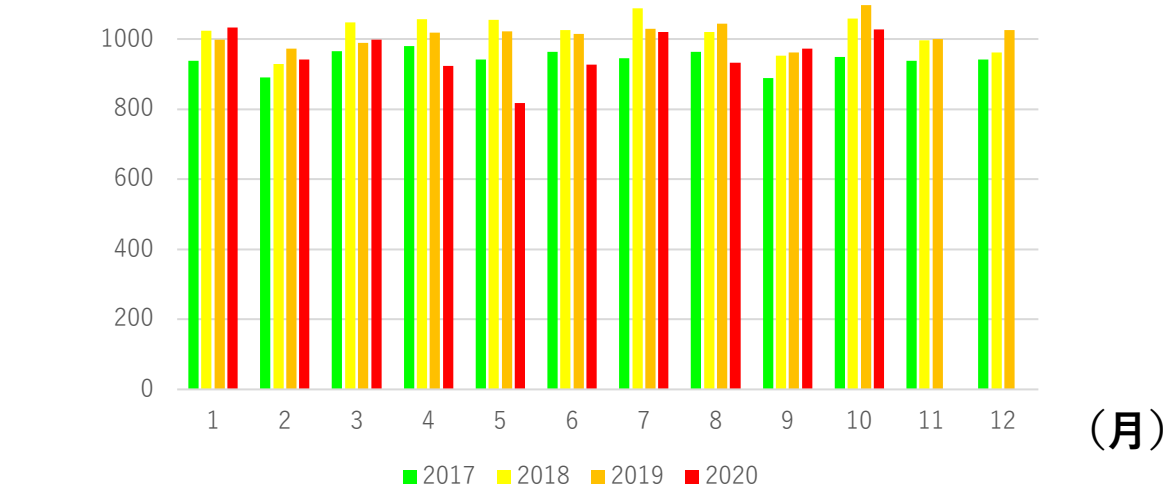
年別HbA1c測定件数



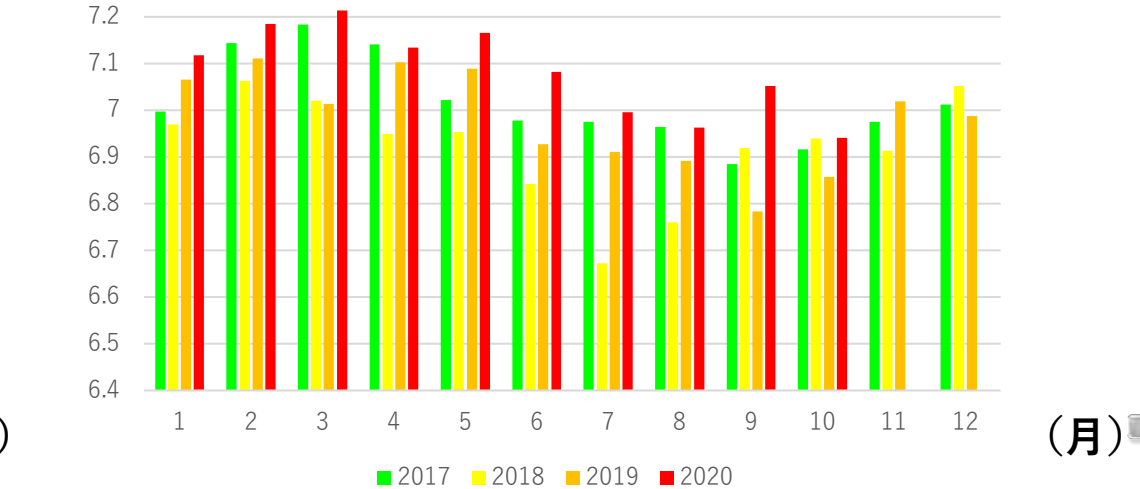
年別平均HbA1c



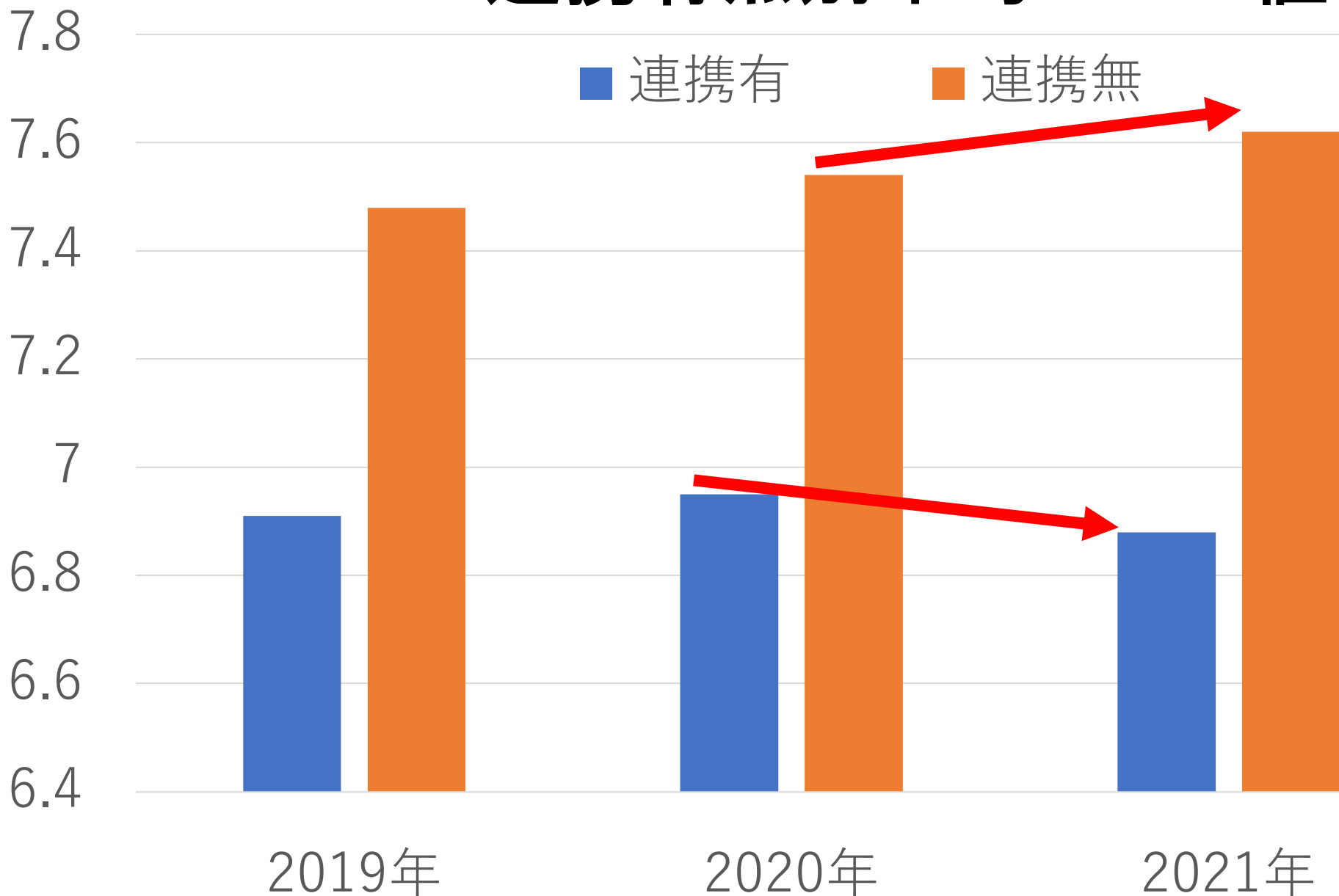
年度別HbA1c測定件数 (月別)



年度別平均HbA1c (月別)



連携有無別平均HbA1c値

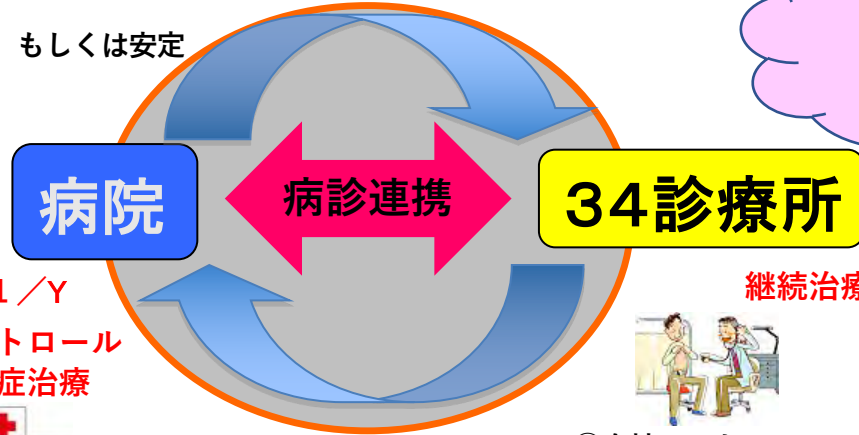


コロナ禍での受診抑制下で病診連携患者はかかりつけ医の治療を継続し悪化例が少なかったのに対して非連携例では受診抑制でコントロールが悪化。病診連携は有事で機能を発揮できた。



八幡浜市の糖尿病病診連携の現状

- ① 血糖コントロールが比較的良好 (HbA1c<8%)
- ② 合併症がない、もしくは安定
- ③ 患者の了解



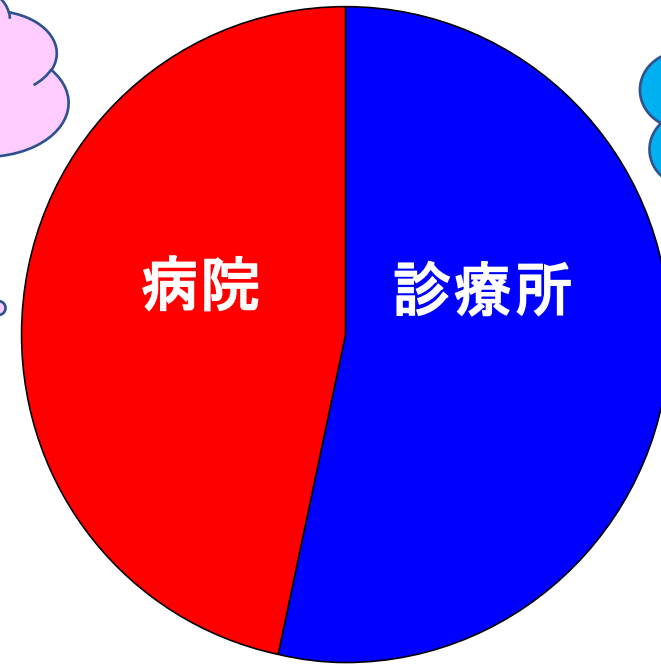
合併症検査: 1/Y
コントロール
合併症治療

継続治療



- ① 血糖コントロール不良: 1%/M以上、1~2%/開始時、9%以上、頻回の低血糖
- ② 合併症の出現・悪化
- ③ 患者希望時

病診連携なし



病診連携

N=1285

Stage2:249例(31.6%)

1/Y 診療所での指導はない

Stage3:88例(11.2%)

安定例は2/Y、他は当院のみ

Stage4:33例(4.2%)

当院のみ

限られた医療資源の有効配分～病診連携のさらなる発展～

- ・勉強会 (DMサークル53回) 継続し技術移転を図る
- ・腎症治療の適材適所化の徹底のためのマニュアル化
- ・Δ eGFRなどデータの共有 (連携先との)
- ・地域のハイリスク例の見える化 (行政MAPの改善)



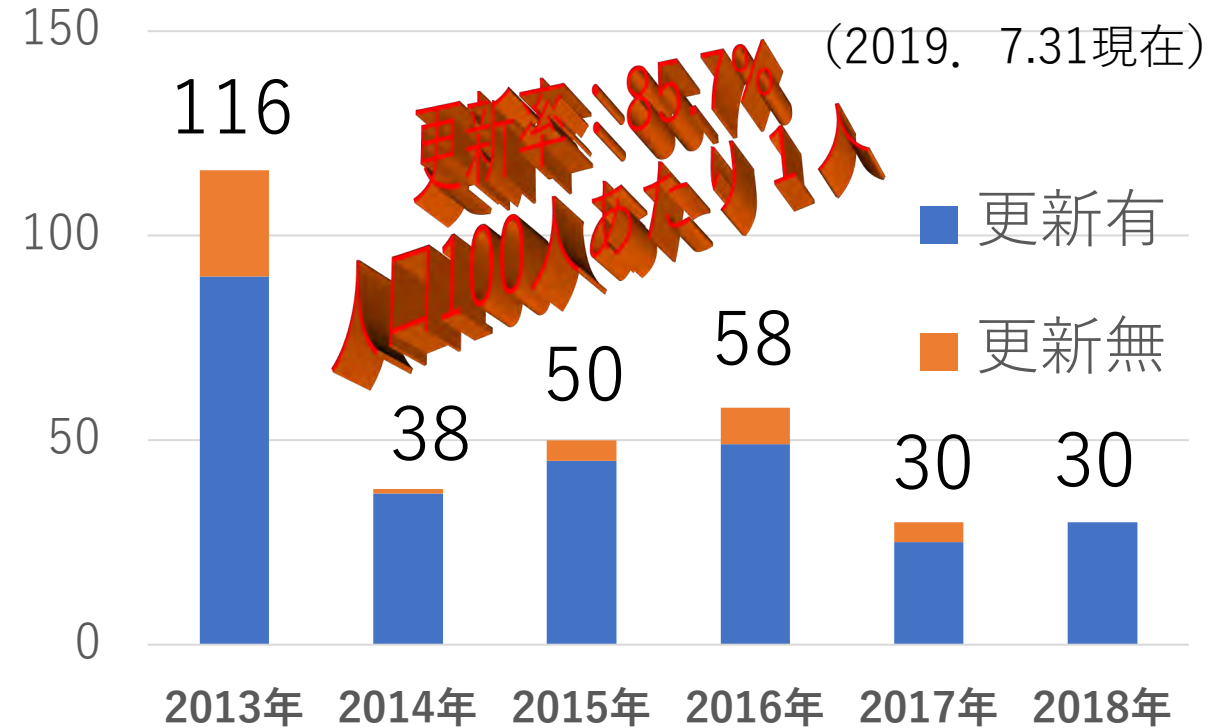
八幡浜市の多職種連携の現状

多職種協働の構図



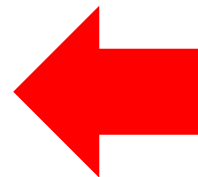
年度別YDS認定者数

(人) 全認定者数322人・更新者数276人



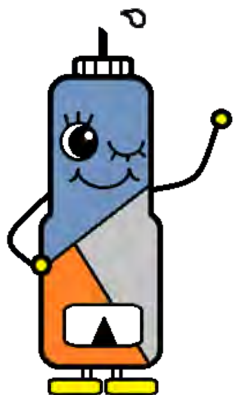
2021.6.24

リモートと会場参加の
ハイブリッド形式で開催



2020年度はコロナ禍で研修会の
開催ができずにYDS活動は休止

調剤薬局との連携の現状

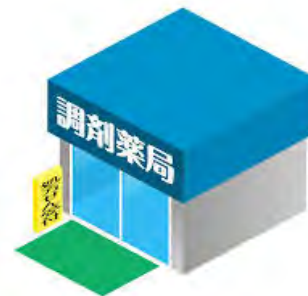
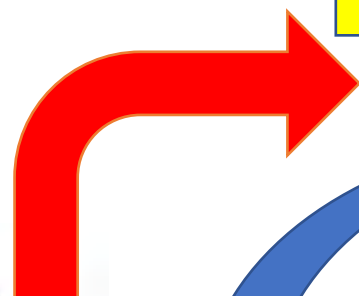


自己注射不能例
週1回注射



かかりつけ薬局
YODS

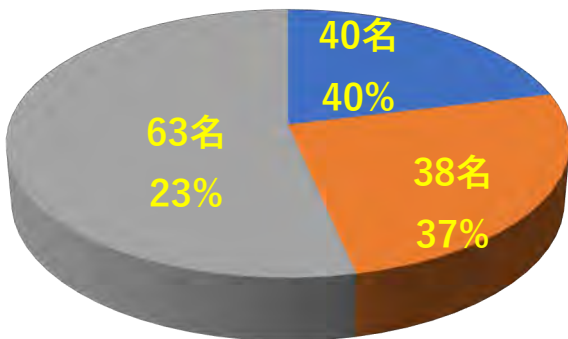
地域の健康
ステーション



処方

処方箋発行

デバイスプラス
(職種別)



自己注射

YODS設置薬局
八幡浜市: 14/23(14/18)*三瓶町: 2/3
*整形外科・眼科・耳鼻科・精神科を除く

約3/4の調剤薬局が参加



2020年度以降はコロナ禍で研修会の開催
ができずにデバイスサポーター活動は休止

会の再開と講習会で腎症療養指導の技術移転

(愛媛医学39:59-64,2020)

愛媛県下の糖尿病性腎臓病重症化予防の取り組み

松浦 文三¹⁾, 仙波 英徳¹⁾, 日浅 陽²⁾

1) 愛媛大学大学院地域生活習慣病・内分泌学 2) 同消化器・内分泌・代謝内科学

Prevention of severe diabetic kidney disease in Ehime

Bunzo Matsuura¹⁾, Hidenori Senba¹⁾ and Yoichi Hiasa²⁾

1) Department of Lifestyle-related Medicine and Endocrinology, Ehime University Graduate School of Medicine
2) Department of Gastroenterology & Metabolism, Ehime University Graduate School of Medicine



図2. 愛媛県下の当科関連の糖尿病専門医施設 (2019年10月現在)

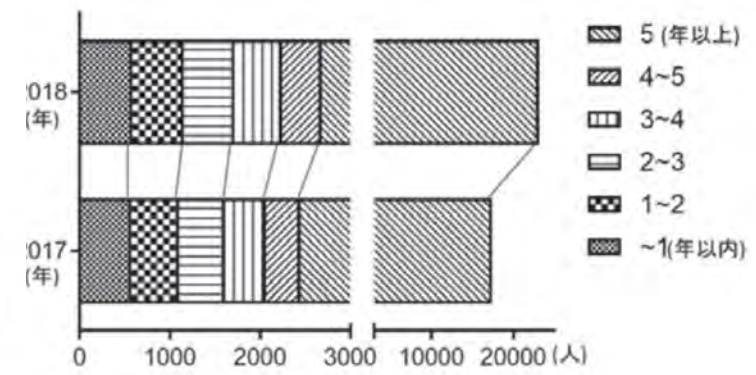
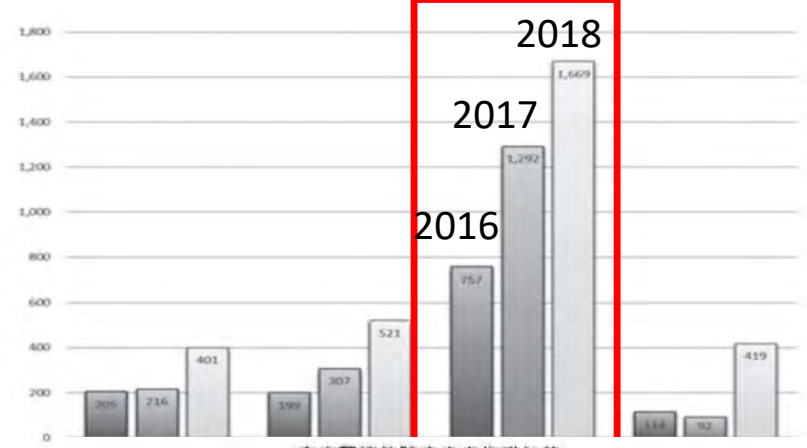


図4. 予想透析導入時期別人数の推移

都道府県別糖防管算定数

(2018年度)

順位	都道府県	人口(10万人)	糖防管算定回数	算定回数/10万人
1	愛媛県	13.3	3,732	281
2	石川県	11.3	2,606	231
3	熊本県	17.4	3,725	214
4	富山県	10.3	2,147	208
5	鹿児島県	15.9	3,029	191
6	大阪府	88.2	14,148	160
7	兵庫県	54.4	8,404	154
8	滋賀県	14.1	2,163	153
9	長野県	20.3	3,002	148
10	群馬県	19.3	2,760	143
---	---	---	---	---
47	宮崎県	10.6	143	13



高度腎機能障害患者指導加算 算定医療機関数・算定回数

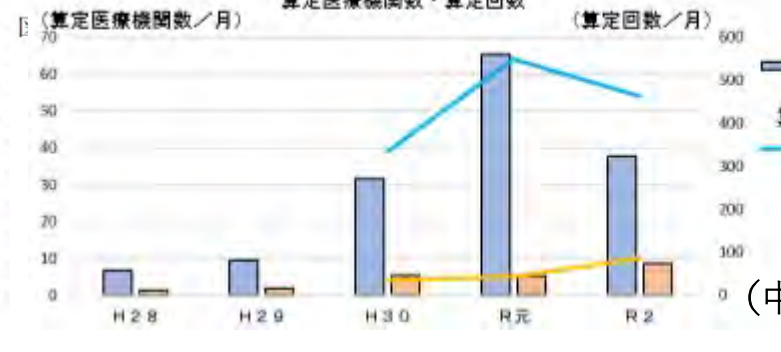
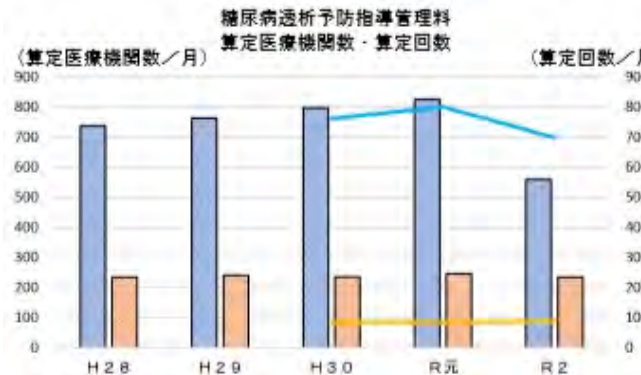
愛媛県

①DM連携サークル: 愛媛大学関連中核病院と地域医師会との糖尿病病診連携システム運用中

②EDeN(Webでの中核病院療養指導スタッフの勉強会: 4/Y)



EDeNへの調剤薬剤師の参加をすすめる



(中医協 総-3 3.7.7)



謝辞

地域連携を基盤にした透析予防から
地域への展開へ(4)一愛媛県八幡浜市一

地方からの発信・・・

地域
連携

多職種
協働

重症化
予防

連携
推進

協働
多職種

重症化
予防

市立八幡浜総合病院 DMチーム

医師：北田遼佑・津留伯耀・渡部杏子・看護部：吉川るり子・二宮香津子・木戸美枝子・竹本眞由美・
岡崎千鶴 栄養療法科：水間貴美子・薬師神江利・高石梨代 薬局：宮本和典・山下真美
臨床病理科：古森健太郎 リハビリ室：伊勢家満美・田澤舞

市立八幡浜総合病院 地域医療連携室

橋本妙子・菊池幸恵

